

病は知から

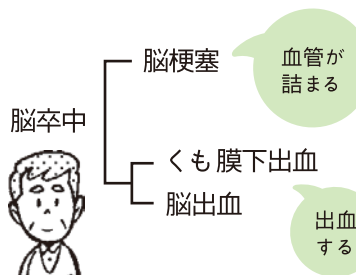
脳卒中

のうそつちゅう

脳の血管に何らかの異常があつて起こる脳血管障害のうち、突然発症するものが「脳卒中」。日本人の死因の中で、第4位になっています。

「脳卒中」って、どんな病気？

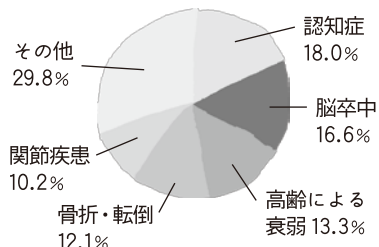
3つの病気の総称



脳卒中のうち、脳の血管が詰まるのが脳梗塞、出血するのが脳出血とくも膜下出血です。

“寝たきり”の原因第2位

要介護・要支援となった主な原因



出典：厚生労働省「平成28年 国民生活基礎調査の概況」より作成  
後遺症が残ることも多く、“寝たきり”など要介護となる大きな原因になっています。

こんな時はすぐ救急車を！

脳卒中は一刻も早く治療を開始することが重要です。

1. 顔のマヒ



笑顔を作ってみて  
顔面の動きが  
左右非対称

2. 腕の下垂



両腕を10秒間  
まっすぐ上げてみて  
片方の腕が上がらないか  
保持できない

3. 言語の異常



話してみても  
ろれつが回らない、  
言葉が出てこない  
間違える

※くも膜下出血の場合は、突然の激しい頭痛が典型的な症状です。

治療は時間との勝負



脳梗塞の治療薬 t-PA は発症して4.5時間以内、血栓回収療法は8時間以内の治療開始が必要です。

危険因子に注意！

リスクを高める要因は



1. 高血圧
2. 糖尿病
3. 脂質異常症
4. 喫煙
5. 大量の飲酒
6. 心房細動

生活習慣を改善して予防に努めましょう。

なったら不運ではない  
原因があり予防もできる  
「脳卒中」の治療

ほとんどの脳卒中には原因があり、予防対策がとれることを信じてみようか。「寝たきり」になる人を減らすため、最新の治療や情報発信に取り組む脳神経外科の先生に話を聞きました。



正しい知識を  
広めるため、  
ブログなどでも  
情報発信しています。

危険因子が多い人は、  
積極的に脳ドックを  
受けましょう。

脳神経外科  
吉村 紳一 主任教授

脳卒中のうち、脳の血管が詰まって起こるのが脳梗塞です。発症したら、一刻も早く血管の詰まりを取り除くことが重要です。治療開始が発症後4.5時間以内であれば、t-PAという血栓を溶かす薬を点滴します。時間が間に合わなかったり、詰まったのが脳の太い血管だったりした場合は、以前は治療が難しかったのですが、近年、血栓回収療法という新しい血管内治療が確立されてきました。これは、脚の付け根から脳血管までカテーテルを通して血栓を直接取り出すという、世界的にも注目を集めている方法で、発症後8時間まで行うことができます。いざれにせよ、脳梗塞の症状が出たら、すぐに病院に行き治療を始めることが大切です。

脳出血は、脳内の細い血管が切れて起こります。重症の場合は血腫を取り除く手術を行います。当科には神経内視鏡技術認定医が常駐しており、開頭せず内視鏡による治療も行っています。くも膜下出血は主に脳の動脈にできたコブ(脳動脈瘤)が破裂して起こります。再破裂を防ぐことが大切で、開頭して金属のクリップでコブの根元をはさむ開頭ク

